

いばらきネットモニター 文化プログラムに関する認知度調査

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期 平成30年11月16日（金）から平成30年11月28日（水）まで

調査方法 インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

いばらきネットモニター数416名（県内モニターのみ）

回収率 55.3%（回収数230名）

回答者の属性（百分率表示は小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある）

		人数(人)	比率(%)
全体		230	100.0
性別	男性	115	50.0
	女性	115	50.0
地域	県北	23	10.0
	県央	79	34.3
	鹿行	14	6.1
	県南	84	36.5
	県西	30	13.0
年齢	16～19歳	1	0.4
	20～29歳	8	3.5
	30～39歳	32	13.9
	40～49歳	61	26.5
	50～59歳	54	23.5
	60～69歳	38	16.5
	70歳以上	36	15.7
職業	自営業	13	5.7
	会社員	69	30.0
	団体職員	7	3.0
	公務員	6	2.6
	主婦・主夫	58	25.2
	学生	3	1.3
	無職	47	20.4
	その他	27	11.7

(2) 調査目的

文化プログラムに関する認知度を把握し、今後の施策展開の参考とするために実施するものです。

担当課：茨城県 県民生活環境部 生活文化課

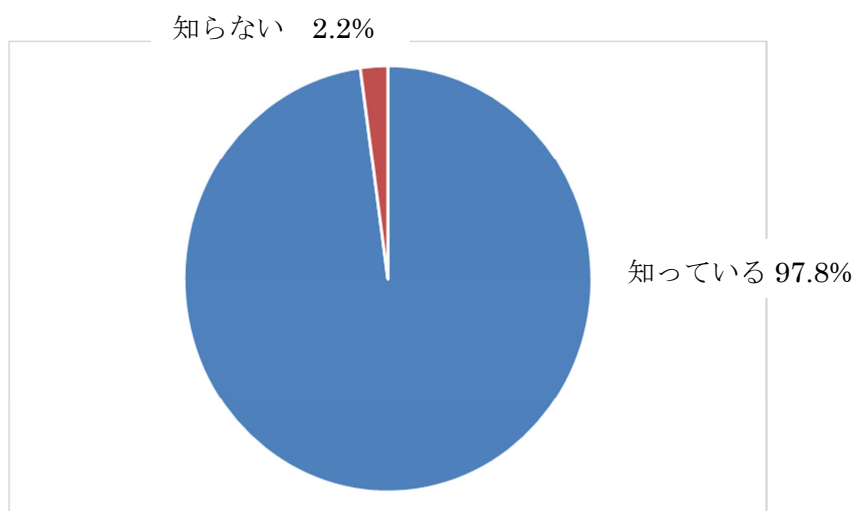
電話：029-301-2824

E-mail：seibun2@pref.ibaraki.lg.jp

2 調査の結果

【問1】

あなたは、2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

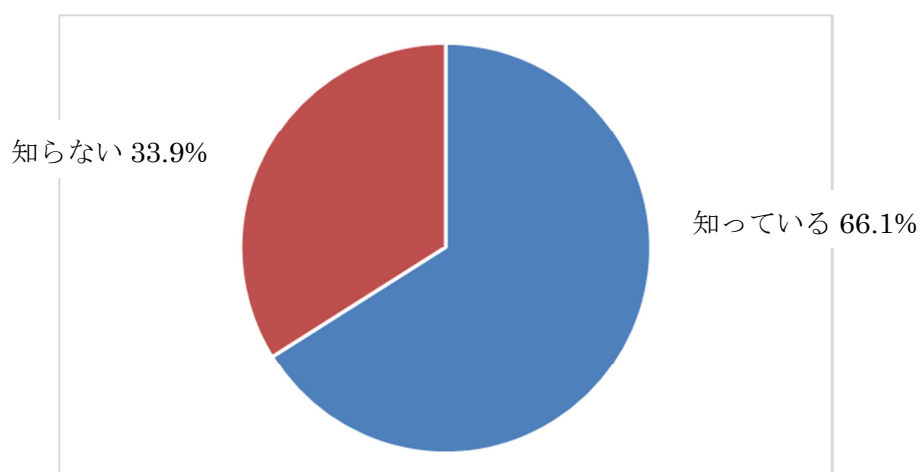


「知っている」が97.8%であり、「知らない」が2.2%だった。

2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催については、ほぼ認知されている結果となった。

【問2】

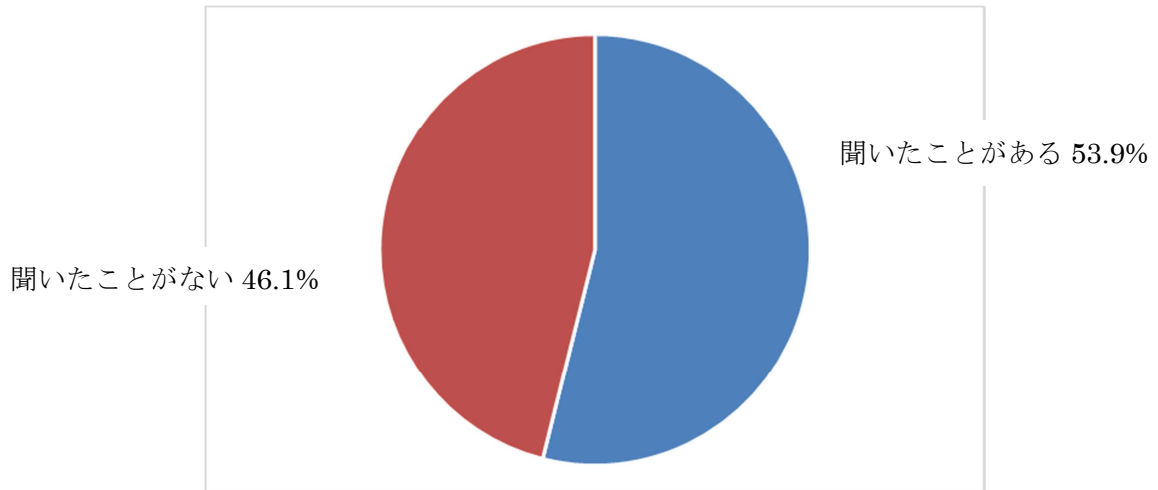
あなたは、茨城カシマスタジアムでオリンピック・サッカー競技が開催されることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



「知っている」が66.1%であり、「知らない」が33.9%だった。

【問3】

あなたは、オリンピック・パラリンピックが文化の祭典でもあることを聞いたことがありますか。



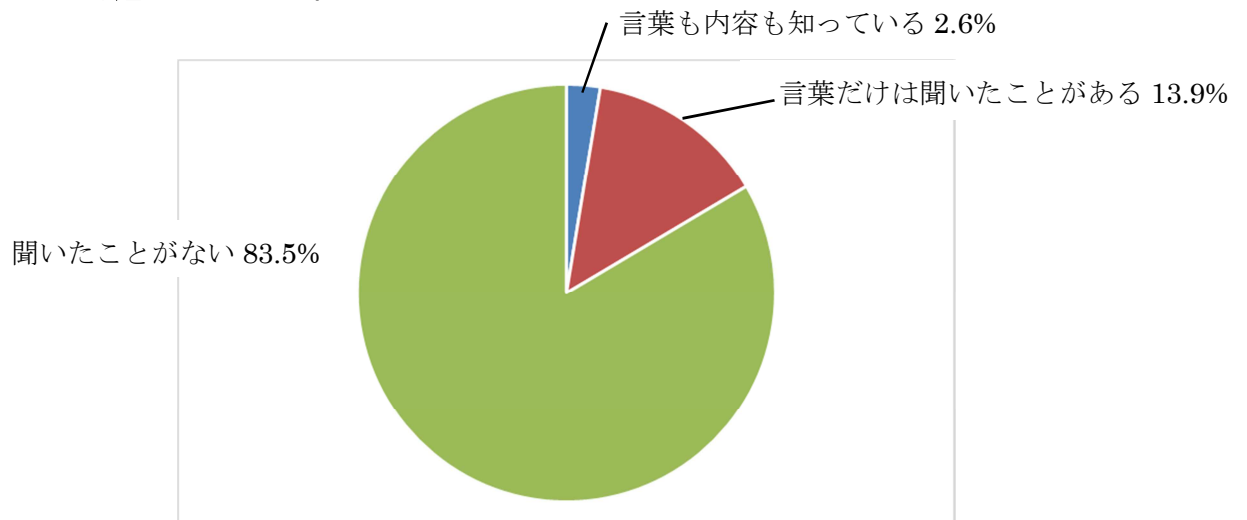
「聞いたことがある」が 53.9%であり、「聞いたことがない」が 46.1%だった。

オリンピック・パラリンピックの開催に係る認知度は高いものの、文化の祭典であることについては認知度が大きく下がる結果となった。

【問4】

オリンピック憲章に基づいて行われる公式文化プログラムとして「東京 2020 文化オリンピックアード」という認証制度があります。

あなたは、「東京 2020 文化オリンピックアード」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



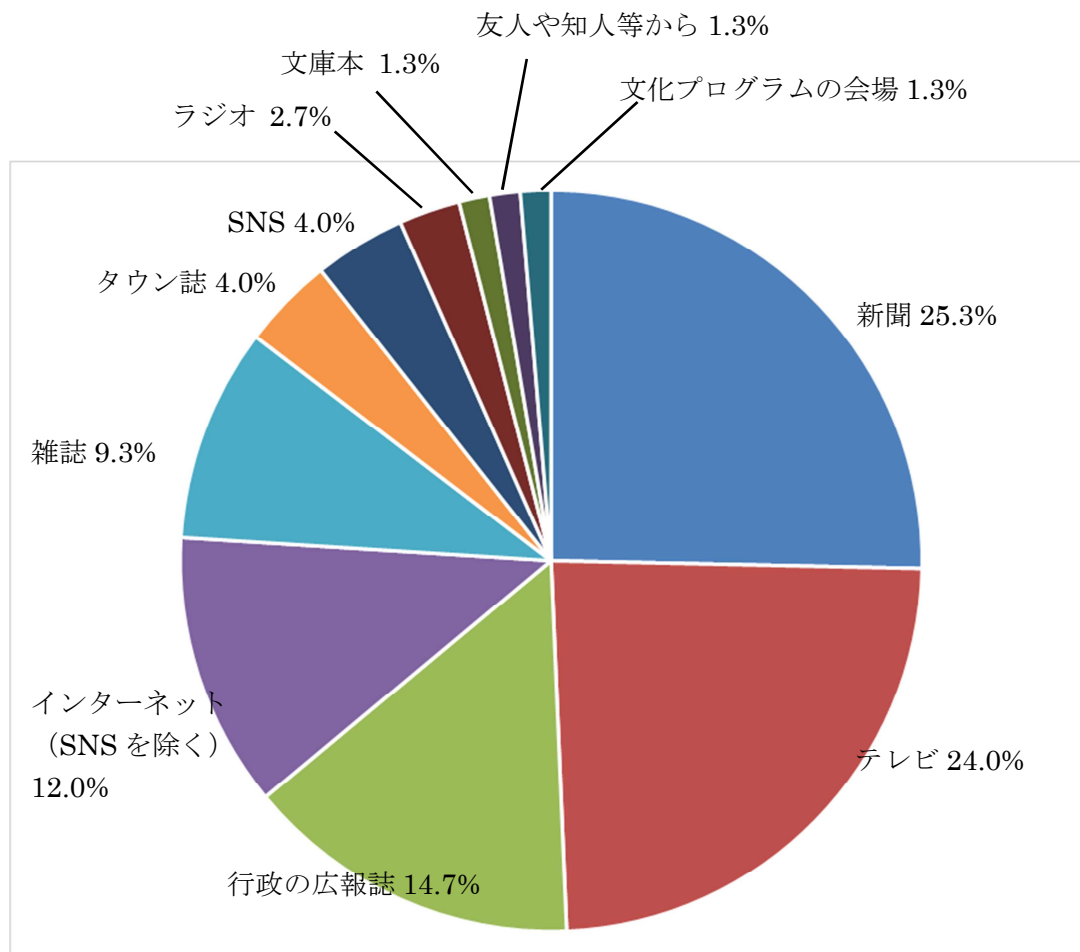
「言葉も内容も知っている」が 2.6%、「言葉だけは聞いたことがある」が 13.9%、「聞いたことがない」が 83.5%であった。

オリンピック・パラリンピックが文化の祭典であることの認知度は半数程度であったが、「東京 2020 文化オリンピックアード」という認証制度の認知度となると、大きく下がる結果となった。

【問5】

(問4で「1 言葉も内容も知っている。」「2 言葉だけは聞いたことがある。」を選択された方のみお伺いします。)

あなたは、「東京 2020 文化オリンピック」という言葉をどこで見聞きしましたか。あてはまるものを選んでください。(最大3つまで)

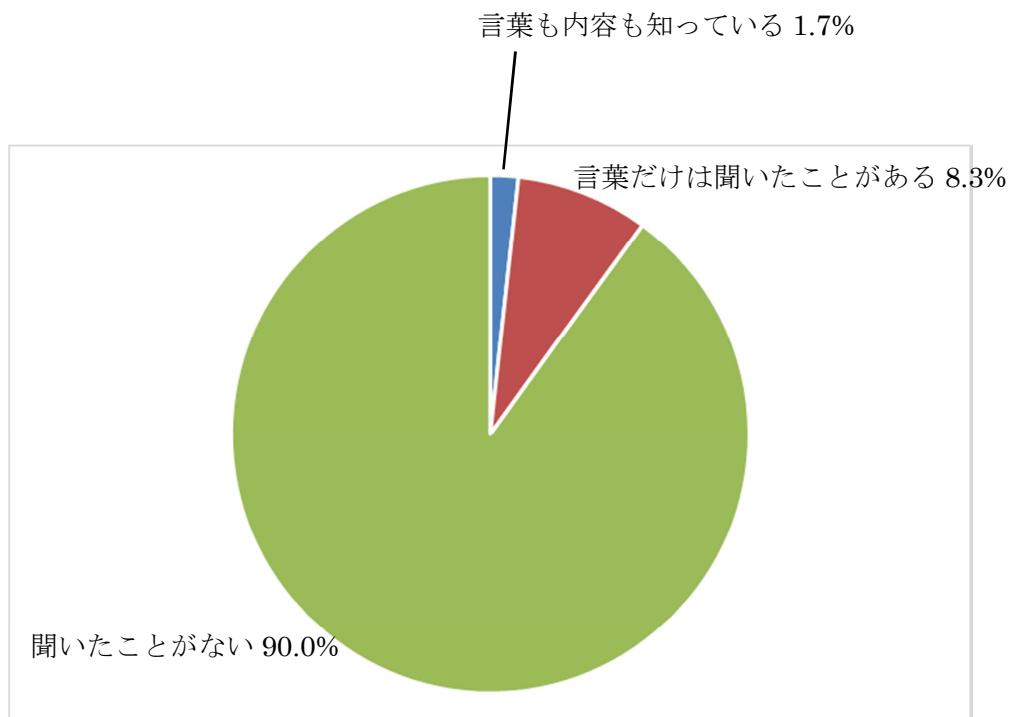


「新聞」が 25.3%、「テレビ」が 24.0%、「行政の広報誌」が 14.7%、「インターネット」(SNSを除く)が 12.0%であり、これらで全体の 76%を占めている。

【問6】

多様な団体を取り組める文化プログラムとして「beyond2020 プログラム」という認証制度があります。

あなたは、「beyond2020 プログラム」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



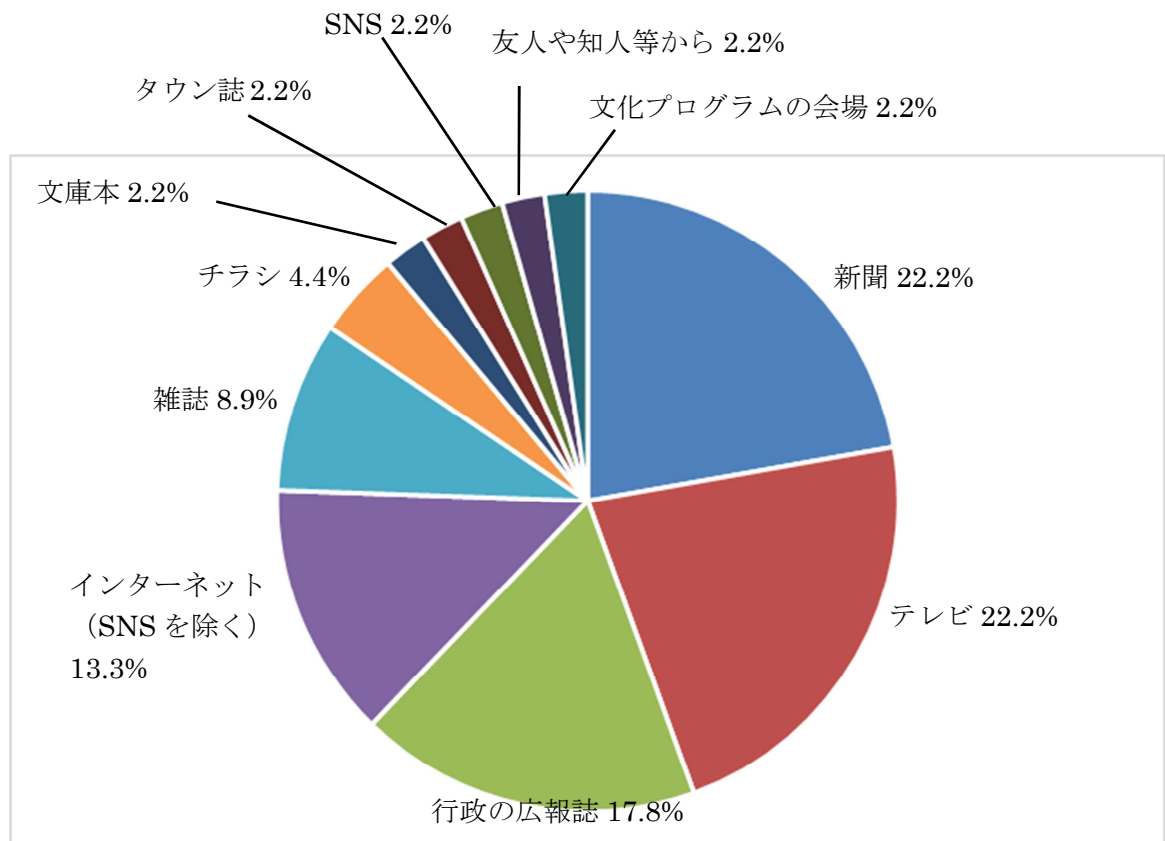
「言葉も内容も知っている」が 1.7%、「言葉だけは聞いたことがある」が 8.3%、「聞いたことがない」が 90.0%であった。

オリンピック・パラリンピックが文化の祭典であることの認知度は半数程度であったが、「東京 2020 文化オリンピック」という認証制度の認知度と同様に、「beyond2020 プログラム」の認知度についても、大きく下がる結果となった。

【問7】

(問6で「1 言葉も内容も知っている。」「2 言葉だけは聞いたことがある。」を選択された方のみお伺いします。)

あなたは、「beyond2020 プログラム」という言葉をどこで見聞きしましたか。あてはまるものを選んでください。(最大3つまで)



「新聞」が 22.2%、「テレビ」が 22.2%、「行政の広報誌」が 17.8%、「インターネット」(SNSを除く)が 13.3%であり、これらで全体の 75.5%を占めている。

「東京 2020 文化オリンピック」という言葉はどこで見聞きしたかという設問に対する回答と近い結果となった。